

# 賛助会北信

平成27年10月19日発行

第113号

(公財)長野県長寿社会開発

センター北信地区賛助会

発行者: 清水 勅夫

## 2015 信州ねんりんピック in 千曲市上山田文化会館

9月5日(土)雨天曇天の続く中、久しぶりの好天日、文化芸術交流大会が千曲市上山田文化会館で行われました。オープニングは地元和太鼓グループによる太鼓の演奏に併せて、千曲市に伝わる娯捨物語を朗読で鑑賞しました。



式典中、山ノ内支部「福祉ボランティア」が知事表彰を、飯山支部「飯山ハーモニカクラブ」&「シニア大学 OB コーラス」がセンター表彰を、個人では飯山支部の清水勅夫さん、山ノ内支部の鈴木武男さん、木島平支部の片桐静雄さんの3人がセンター表彰を受けられました。

今年度のプログラムは一味違った進め方で工夫を凝らした内容で興味深い式典となりました。特に面白いと感じたことは、「オバステ物語その後」でキャストとなられた内山二郎理事長(一茶役)、知久荘治さん(呆爺茶役<「ほうじちゃ」と呼ぶんだそうです。>)のお二人の掛け合いがとても愉快で楽しかったです。続いて行なわれたのは「人生百歳時代でやりたいこと」のテーマで行われた意見交換会です。このテーマに関係して事前にアンケートに答えた方に最後に富くじを引く権利が与えられました。大当たりは会場内から二人、その内飯山支部会員栗原米子さんは千曲市の特産品を多数?獲得されました。



式典中、

山ノ内支部「福祉ボランティア」が知事表彰を、飯山支部「飯山ハーモニカクラブ」&「シニア大学 OB コーラス」がセンター表彰を、個人では飯山支部の清水勅夫さん、

山ノ内支部



作品展への北信地区からの会員出品者は下記の方々です。(敬称略)

《日本画の部》酒井章雄「秋山雑魚川大滝」、清水勅夫「陽春 川の流れるように」、栗原米子「ちびっこ冒険」、高野ミツ子「花しょうぶ」

《洋画の部》江尻文夫「初秋の瀧」、

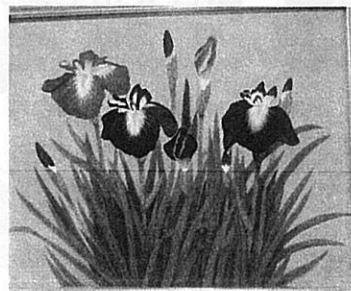
山本延美「菜の花公園」

《手工芸の部》田中愛子「晩秋の山里」、

鷲森則子「北竜湖」

《書の部》齋藤順一「五言絶句 花開蝶満枝」

《写真の部》峰村 眞「朝の田植え」



高野ミツ子さんの作品



清水勅夫さんの作品

※高野ミツ子さんは長野県知事賞、清水勅夫さんは長野県社会福祉協議会会長賞に入賞されました。

## 2015 信州ねんりんピック スポーツ交流大会

in 長野市

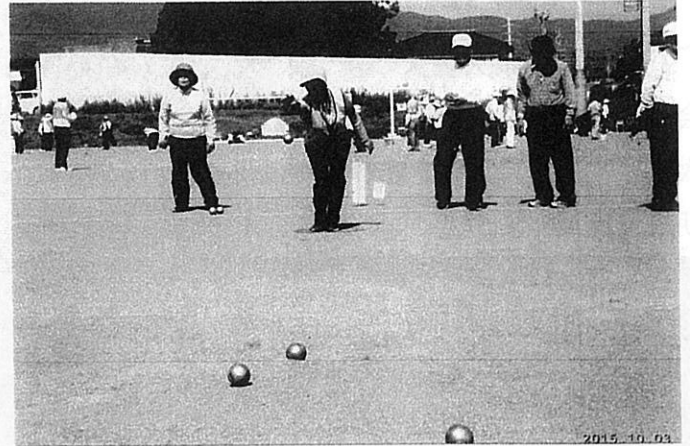
2015 信州ねんりんピックスポーツ交流大会が、10月3日長野市で開催されました。

北信地区賛助会からは、マレットゴルフに中野・飯山・山ノ内の各支部から14名が、ペタンクに木島平支部から2チームが参加しました。

マレットゴルフは、犀川第2運動場マレットゴルフ場に北信地区から22名が参加して開催されました。36ホール、パー144のストロークプレイの個人戦で、木島平の倉科吉男さんが準優勝となりました。この会場は県内でも有数のロングコースがあり、100m以上のコースが7カ所もあります。大会参加者で最高齢者は男性が90歳、女性が83歳でした。

ペタンク競技は長野市運動公園広場に特設コートが作られ、14チームが参加して開催されました。木島平支部から参加したBチーム(金井義信さん・駒原克己さん・栗林ミサさん)が予選リーグで2勝1敗と準々決勝に進み、松本Bチームと対戦し11対2で準決勝へ進みました。しかし準決勝では飯田ビュットに1対11で敗れ、3位となりました。

ゲートボール競技には賛助会員からの参加はありませんでした。



【担当：木島平支部 金井義信・山ノ内支部 佐藤英彦】

**2015信州ねんりんピック  
受賞作品巡回展 同時開催**

# 第20回 木曾地域 高齢者作品展 開催

● 地域の高齢者の力作を多数展示しています

陶芸 工芸品 絵画 写真 書 俳句 短歌 手芸 盆栽 等

◆ 日時：平成27年 **11月10日(火)**  
10:00～18:00

**11月11日(水)**  
9:00～17:00

◆ 場所：  
上松町ひのきの里  
総合文化センター



**入場  
無料**



※ 木曾郡下福祉施設等の製品即売会を同時開催しています。

**主催 木曾地域高齢者作品展実行委員会**

木曾町・上松町・南木曾町・木祖村・王滝村・大桑村・(公財)長野県長寿社会開発センター  
木曾支部・木曾地区賛助会・木曾郡老人クラブ連絡協議会・木曾保健福祉事務所

【事務局】木曾保健福祉事務所福祉課 **電話 0264(25)2218**

木曾支部及び木曾地区賛助会よりお知らせ

木曾地域高齢者作品展が行われます。  
大勢の皆さんのお越しお待ちしております。





# 第6回県歌「信濃の国」を巡る旅 in 松本

主管 北信地区賛助会中野支部

10月7日(水) 早朝より秋日和の美しい山々。会員42名、始発山ノ内町文化センター7時、中野市、飯山市、豊田道の駅と、バスは予定通りに移動。北信地区賛助会清水会長、竹内中野支部長、遠山福祉課長の挨拶をいただきました。渡辺中野支部事務局長の進行で、前澤幹事のハーモニカ伴奏に合わせて信濃の国の歌声を車内一杯に響かせた。

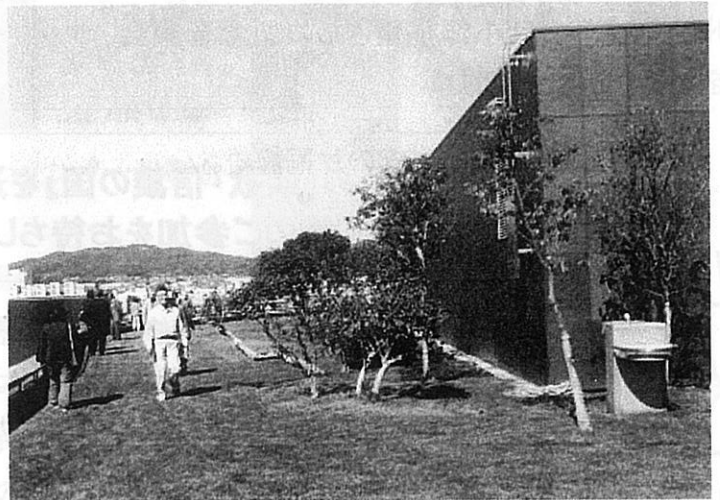
バスは予定通り10時に松本城に到着した。記念撮影の後体力脚力に応じたコースをとるため3班に分かれ、松本地区賛助会員の林喜代子さん他2名の方の案内で見学した。



## ※国宝松本城その歴史(10:00~11:30)



戦国時代は「深志城」と言われていた。一時、武田氏の信濃支配の拠点となったが、本能寺の変に乗じた小笠原氏が深志城の復活をはかり、その



名を「松本城」とした。

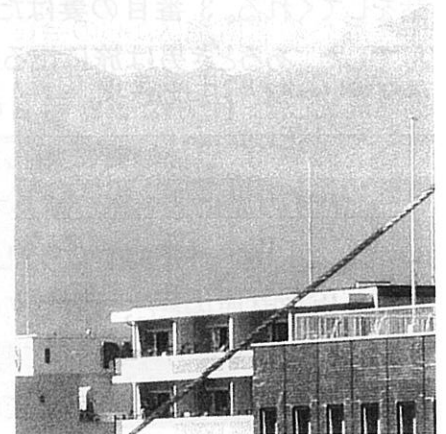
※**天守建造** 秀吉の天下統一後、家康の関東移封により小笠原氏も下総へ移った。その後石川数正、康長父子は城と城下町の経営に力を尽し基礎を築き上げた。

**市民芸術館屋上の芝生**

※**松本市立博物館** 場内敷地にある。松本城関連資料や国宝指定の重要有形民俗資料が集められ展示されていた。

## ※まつもと市民芸術館(12:00~12:50)

4層のバルコニーを備えた最大1800席の馬蹄形の主ホールと、ワンボックス型288席の小ホールなどを備えた施設。オペラやオーケストラなどのコンサート、演劇、落語、歌舞伎など様々な催し物を行える施設。施設の見学だけだが、その豪華さに驚いた。



※**「芸術館レストラン井(せい)Say」にて昼食** 地元直産野菜料理、屋上は芝生貼りで庭木も植えられ、閑静だ。ここからは常念岳の左手から槍ヶ岳が顔を見せ、感動した。

**市民芸術館屋上より槍ヶ岳を望む**



## ※松本市美術館 (13:00~14:40)

平成14年4月開館した立派な建物です。草間弥生「魂のおきどころ」、100点洋画・田村一男「田村一男の眼差し」、洋画・上條信山「天と心」書・細川宗英特別展示、写真・篠山紀信展「写真力、時代の写し鏡」(国内外の著名人、日本伝統芸能、ヌードと自然等々)

以上で計画通り松本市の400年間続く城下町、旧制松本高等学校、信

州大学、近頃は小澤征爾さんの記念音楽会、サッカーの松本山雅等、「学・楽・岳」の雰囲気漂う一日を満喫した次第です。

**【担当 中野支部 寺島 進】**

来年度第7回目の「県歌「信濃の国」を巡る旅」は、山ノ内支部が主管です。  
大勢の会員他の皆様のご参加をお待ちしています。

## おまけ

ある団体の研修旅行で、穂高神社を訪れた時の事です。

『心だにまことの道に叶いなば 祈らずとも神や守らん』という、学問の神様「菅原道真」公の歌を記した立札が境内に建てられていました。心の持ち方さえ真実の道に叶っていれば、祈らずとも神は守ってくれる。日々の生活の中で心の持ち方を正していることが大切で、神に願いを聞いてもらうのではなく、神の願いを果たすこと。これが本来の信仰なんだと思った次第です。

また老人大学(現シニア大学)の講座で、大徳寺の畔上智仁ご住職から「4人の妻を持った男の話」を学生と一緒に拝聴しました。1番目の妻はいつも傍にいて世話をしてくれる。2番目の妻はよく通って世話をしてくれる。3番目の妻はたまに通って世話をしてくれる。4番目の妻はほとんど世話をしてくれませんでした。あるとき男は旅に出るために1番目の妻と一緒に付いてきてくれるよう頼んだところ、あっさり断られました。仕方なく2番目の妻に頼んだところ、「戸口までならお見送りしましょう」と言われ、これでは困るので3番目の妻に頼んだところ、「村はずれまでならお見送りしましょう」と言われ、困り果てた男は、4番目の妻に恐る恐る頼んでみたところ「喜んで付いて行きましょう」と言われました。

男は「西の国」へ旅に出ようとしていたのです。つまり1番目の妻とは男の肉体のことです。2番目の妻とはお金や財産のこと、3番目の妻とは親戚のこと、4番目の妻とは生前の行いのことなんだそうです。仏の教えに「人はその生のよりにて尊きにあらず、また卑しきにあらず。その行いによりて尊きものものとなり、また卑しきものとなる。」と教えています。墓場までついてくる親族親戚はいても墓場の中に入ることは出来ません。生前の行いは死んでも付いてくるということです。

学問の神様の教えは「心の持ち方を」、仏の教えは「行」のことを教えてくれているのかなと思った研修のひとときでした。